

なり 力に去る事務は 潤停者 蘇子石山の對し  
し不調に終る たることを 氣の毒なる 思ふに 述ぶ

職工側の態度

争議團 幹事 中 野田 斎 安 蘇 昔の 軟  
派 と 隆 巴 政 之 助 南 亡 田 壽 の 硬 派 と  
の 互 目 は 此 の 度 の 解 決 交 渉 に 依 つ て 蓋 之  
甚 だ し ち なる 十五りの 幹 部 合 合 の 席 上  
安 蘇 純 一 部 の 如 き は 暴 行 を 加 へ ら れ ぬ  
る 有 様 へ 野 田 は 十 五 り 形 勢 力 不 均 と  
思 へ 歸 政 <sup>行 方 不 明</sup> した ち 争 議 團 は 十 五 り 午  
後 八 時 頃 五 枝 之 位 宛 井 田 印 之 蔵 の 東 西

西之通り甲内を押破る突進して石を投げ  
り 業の 行 動 と 多 分 主 謀 者 岡 村 西 士 安  
蘇 貞 毫 志 井 友 恒 戸 掩 束 者 二 十 三 名  
争 議 團 の 唯 一 の 強 味 は 共 働 社 員 井 友  
恒 他 争 議 團 員 必 要 なる 食 料 金 支 給  
給 じ 得 ぬ 有 様 へ 之 れ へ 對 し け 合 社 員 必  
非 常 なる 共 働 社 員 必 要 なる 食 料 金 支 給  
あり 有 様 なる

現在、就業職工数

(十七名)

- 七百七十三名 (中工 陽気 五十四名)
- 生徒 二十名 (新塚印藏 二十九名)